



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月13日

上場会社名 神田通信機株式会社
コード番号 1992 URL <http://www.kandt.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神部 雅人

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 高橋 昌弘

TEL 03-3252-7731

四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	3,501	3.8	105		51		62	
29年3月期第3四半期	3,640	0.2	127		94		105	

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 20百万円 (%) 29年3月期第3四半期 59百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	78.54	
29年3月期第3四半期	131.54	

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	6,202	3,538	57.1	4,415.45
29年3月期	6,582	3,559	54.1	4,439.27

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 3,538百万円 29年3月期 3,559百万円

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		5.00	5.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				30.00	30.00

(注) 29年3月期期末配当の内訳 普通配当 3円00銭 記念配当 2円00銭

当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は3円00銭となり、1株当たり年間配当金は3円00銭となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,250	6.8	200	22.7	250	16.2	155	2.1	193.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成30年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	874,409 株	29年3月期	874,409 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	72,915 株	29年3月期	72,589 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	801,677 株	29年3月期3Q	801,829 株

(注)当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績は、今後、様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。詳細は「添付資料」2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び業績予想について)

当社は平成29年6月29日開催の第80期定時株主総会決議により、平成29年10月1日付で株式併合(10株を1株に併合)を行っております。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

- 平成30年3月期の配当予想
1株当たり配当金 期末 3円00銭
- 平成30年3月期の連結業績予想
1株当たり当期純利益 通期 19円33銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が進み、緩やかな回復が見られましたが、海外の政治情勢への懸念や地政学リスクの高まりなどもあり先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは、永年にわたり情報・通信・映像の事業で培った豊富な経験と情報・通信を統合した確かな技術力をもって、進化するネットワーク社会に適合したソリューションビジネスを展開してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は35億1百万円(前年同四半期比3.8%減)となり、営業損失は1億5百万円(前年同四半期は営業損失1億27百万円)、経常損失は51百万円(前年同四半期は経常損失94百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は62百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億5百万円)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① 建設事業

I Pネットワークの提供で企業のネットワークインフラの設計・提案・構築とサポートサービスを行っており、大手・中堅企業の全国ネットワーク構築や地方自治体のネットワーク構築及びセキュリティ関連システム等のソリューション提案及び商業施設、ホテルやブランドショップ等への照明システムの拡販に積極的に注力いたしました。

以上の結果、当セグメントの完成工事高は29億75百万円(前年同四半期比2.5%増)、営業損失は81百万円(前年同四半期は営業損失1億39百万円)となりました。

② 情報システム事業

自社ブランドパッケージソフトの開発と販売、一般企業や独立行政法人・社会福祉法人向け等のシステム開発及びセキュリティ関連ビジネスとハード、ソフトのサポートサービスを行っており、独立行政法人向け財務会計ソフト「見える会計」、社会福祉協議会向けソフト「こころ」等自社開発パッケージソフトの提案やセキュリティ関連システム提案等ソリューションビジネスを積極的に展開いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は4億75百万円(前年同四半期比28.6%減)となり、営業損失は54百万円(前年同四半期は営業損失36百万円)となりました。

③ 不動産賃貸事業

不動産の賃貸を事業としており、売上高は49百万円(前年同四半期比28.5%減)、営業利益は30百万円(前年同四半期比38.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は62億2百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億80百万円減少しました。これは主に、現金預金が2億72百万円増加し、受取手形・完成工事未収入金等が8億55百万円減少したこと等によります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は26億63百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億59百万円減少しました。これは主に、支払手形・工事未払金等が1億71百万円減少したこと等によります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は35億38百万円となり、前連結会計年度末と比較して20百万円減少しました。これは主に、利益剰余金が1億3百万円減少し、その他有価証券評価差額金が78百万円増加したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月15日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	1,488,725	1,761,217
受取手形・完成工事未収入金等	1,629,321	773,870
未成工事支出金	171,797	439,143
仕掛品	44,240	35,822
その他のたな卸資産	4,005	5,907
その他	148,494	122,001
貸倒引当金	△18,180	△17,093
流動資産合計	3,468,405	3,120,868
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	348,254	332,700
土地	1,520,934	1,520,934
その他（純額）	12,457	11,646
有形固定資産合計	1,881,647	1,865,281
無形固定資産		
	8,340	8,340
投資その他の資産		
投資有価証券	1,037,698	1,050,503
その他	204,150	174,175
貸倒引当金	△17,809	△17,070
投資その他の資産合計	1,224,039	1,207,608
固定資産合計	3,114,027	3,081,231
資産合計	6,582,432	6,202,100

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	1,042,765	871,357
短期借入金	220,000	220,000
未払法人税等	62,113	8,857
賞与引当金	128,400	43,222
役員賞与引当金	16,060	3,000
受注工事損失引当金	7,866	-
その他	359,856	414,286
流動負債合計	1,837,062	1,560,724
固定負債		
リース債務	104,402	74,536
繰延税金負債	94,536	126,923
退職給付に係る負債	860,857	860,188
役員退職慰労引当金	77,833	22,037
その他	48,243	18,735
固定負債合計	1,185,872	1,102,422
負債合計	3,022,935	2,663,146
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,310,825	1,310,825
資本剰余金	1,087,084	1,087,084
利益剰余金	997,442	894,385
自己株式	△130,368	△131,042
株主資本合計	3,264,983	3,161,252
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	300,294	379,145
退職給付に係る調整累計額	△5,780	△1,445
その他の包括利益累計額合計	294,514	377,700
純資産合計	3,559,497	3,538,953
負債純資産合計	6,582,432	6,202,100

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	3,640,090	3,501,248
売上原価	2,746,339	2,606,871
売上総利益	893,750	894,376
販売費及び一般管理費	1,021,480	999,678
営業損失(△)	△127,730	△105,301
営業外収益		
受取配当金	15,736	18,592
受取手数料	18,061	22,774
その他	14,831	15,105
営業外収益合計	48,629	56,472
営業外費用		
支払利息	2,442	2,502
貸倒引当金繰入額	11,523	-
その他	1,041	417
営業外費用合計	15,006	2,920
経常損失(△)	△94,107	△51,749
税金等調整前四半期純損失(△)	△94,107	△51,749
法人税、住民税及び事業税	11,367	11,216
法人税等合計	11,367	11,216
四半期純損失(△)	△105,474	△62,966
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△105,474	△62,966

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純損失(△)	△105,474	△62,966
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37,450	78,851
退職給付に係る調整額	8,549	4,335
その他の包括利益合計	46,000	83,186
四半期包括利益	△59,473	20,220
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△59,473	20,220

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			合計(千円)
	建設事業 (千円)	情報システム事業 (千円)	不動産賃貸事業 (千円)	
売上高				
外部顧客への売上高	2,904,154	666,096	69,838	3,640,090
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	2,904,154	666,096	69,838	3,640,090
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△139,594	△36,955	48,819	△127,730

(注) セグメント利益又はセグメント損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			合計(千円)
	建設事業 (千円)	情報システム事業 (千円)	不動産賃貸事業 (千円)	
売上高				
外部顧客への売上高	2,975,467	475,843	49,936	3,501,248
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	2,975,467	475,843	49,936	3,501,248
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△81,256	△54,325	30,280	△105,301

(注) セグメント利益又はセグメント損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。